

「臨床心理士・公認心理師・こころの専門家お仕事入門」

臨床心理コース 高城絵里子

本日の内容

1. 自己紹介
2. 臨床心理学とは？
3. こころの問題ってなに？
4. 「臨床心理士」と「公認心理師」のお仕事入門
5. こころの専門家になるために必要なこと
6. こころの専門家になるために大学で学ぶこと
 - ・ 臨床心理コース紹介、授業紹介



1. 自己紹介

ルーテル学院大学総合人間学部人間福祉心理学科 臨床心理コース教員
高城絵里子(たかきえりこ)

<これまで臨床心理士として経験してきた現場>

1. 保健福祉センター
2. 精神科病院
3. 企業
4. 児童養護施設
5. 小・中学校
6. 大学学生相談室
7. 教育センターや公民館など

<何をしてきたのか>

- カウンセリング・心理療法・問題解決のお手伝い
- 学校の先生や企業の管理職、施設職員など支援者の相談
- カンファレンス=会議への召集、参加
- 教育・講演

現在は..

- 大学・大学院での教育、臨床心理士・公認心理師養成
- 発達に偏りをもつ子どもと家族への援助
 - 子どもへの個別・集団セラピー、保護者相談、発達支援スタッフへの研修
 - 小学校・保育園・幼稚園でのお子様観察、保護者相談、先生方への助言

主な担当授業

公認心理師指定科目・・「心理学的支援法」「心理実習Ⅰ・Ⅱ」





2. 「臨床心理学」とは？



① 心の問題解決
心に問題を抱え、苦しい思いをしている人が、その問題を解決できること

② 予防、健康・成長促進
心が健康な人が、この状態を維持しながら、もっと健康に成長できること

①、②を目指して、
心理学的支援の理論や方法を追求する学問が「臨床心理学」です。



3. こころの問題ってなに？

質問! みなさんは、どんな時に、「今、自分の心が不安定だな」と思いますか？

きもちのサイン

イライラ・不安
ゆううつ・あせり
ソワソワ
気分が沈む
やる気がしない
自信がない
など

からだのサイン

頭痛・肩こり
眠れない
食欲がない
しびれ・ほてり
過呼吸・ふらつき
吐き気・下痢・腹痛
じんましん・発熱など

行動のサイン

外出できない
乗り物に乗れない
食べ過ぎor食べられない
人に会えない
くせがやめられない
物質依存
暴力・自傷・犯罪など

⇒ これらのサインが持続・悪化して、日常生活に支障をきたすようになると「こころの問題」として相談されることが多くなります。

4. 「臨床心理士」と「公認心理師」のお仕事入門

「臨床心理学」の目的を果たすためのこころの専門家「臨床心理士」、「公認心理師」

1. 臨床心理士

1988年 財団法人日本臨床心理士資格認定協会(文科省認定) 認定資格
わが国最初の、臨床心理学の“専門的な実践業務”、“高度専門職業人”資格

2. 公認心理師

「公認心理師法(2017年施行)」に基づく、「国家資格」



「臨床心理士」、「公認心理師」の仕事とは？



01

不適応への対応に参加し、苦しんでいる当人に「精神的な健康」を作り出して行く支援

支援が必要な人の心理状態の観察・分析・理解

支援が必要な人や、その関係者に対する心理的支援

02

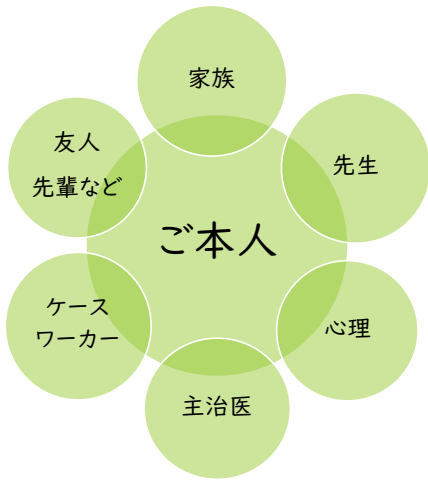
精神的な健康をより増進させるための支援

心の健康に関する教育および情報の提供

支援の効果や、よりよい支援の方法などの研究



「臨床心理士」、 「公認心理師」の支援対象



01

＜ご本人への支援＞

- ・ カウンセリング
- ・ 本人をとりまく環境を調整する

02

＜関係者への支援＞

- ・ 対応の仕方の相談
- ・ 関係者自身のストレスをサポートする
- ・ ネットワークを作る
- ・ 教育をする

各領域での心理士のお仕事一例

1. 医療領域 (精神科病院)

- ・ 患者さんの個人心理療法
- ・ 集団精神療法
- ・ 心理検査等の査定業務
- ・ 処遇会議への出席
- ・ 医師等他職種との連携
- ・ 地域連携
- ・ 地域貢献 (講演・教育など)

2. 教育領域 (例: スクールカウンセラー)

- ・ 生徒さん本人の相談
- ・ 関係の先生と、生徒さん本人、またその家族への対応の相談
- ・ 家族や友人からの相談
- ・ 教育 (先生へ、生徒へ、地域へ)
- ・ 地域連携 (児童相談所や療育施設など)



各領域での心理士のお仕事一例

3. 福祉領域 (例: 児童養護施設)

- ・子どものプレイセラピーや集団療法
- ・子どもの生活の場での支援
- ・処遇会議への出席
- ・ケアワーカーとの対応の相談
- ・外部施設 (児童相談所、学校など) との連携
- ・保護者支援



4. 産業領域 (例: 企業)

- ・社員本人の相談
- ・上司、同僚などに対応の相談
- ・職場の環境調整
- ・休職・復職支援
- ・教育 (メンタルヘルス研修、管理職研修等)
- ・社内、社外連携 (産業医、主治医など)



9

各領域での心理士のお仕事一例

5. 司法領域 (例: 矯正心理専門職)

- ・非行少年の鑑別 (検査や面接を通して更生のための方法を提案する)
- ・関係者や関係機関からの相談
- ・受刑者の処遇調査 (検査・面接・方法の提案)
- ・受刑者に対する教育プログラムやカウンセリングの実施
- ・少年院送致となった少年・少女の教育プログラムの策定・実施
- ・少年院出所後に必要な支援につなぐ

6. 開業 (例: 個人開業の療育機関)

- ・子どもの発達支援セラピー
- ・養育者の相談、ペアレントトレーニング
- ・生活環境調整
- ・他機関に関する養育者への情報提供
- ・地域連携 (医療、学校、保育園、幼稚園等)
- ・教育 (地域での講座、セラピスト養成など)



10

5. 「こころの専門家になるために必要なこと」

1) コミュニケーション力

「臨床心理士」、「公認心理師」は、その職務すべての場面で人と関わり、必ず“コミュニケーション”を使って仕事をしています。

つまり、“自分自身のコミュニケーション(見た目も中身も)”が、仕事を行う上での最大の道具となるのです。

→ こころの専門家になるためには、単に臨床心理学の知識を身につけるだけでなく、“人より良く関係を作る力”をトレーニングする必要があります。



2) 臨床心理士・公認心理師の資格取得条件

(1) 臨床心理士: 文科省指定大学院を修了 → 資格試験

(2) 公認心理師: 大学で公認心理師養成カリキュラムを終了し卒業

→ 公認心理師養成プログラムのある大学院修了 → 資格試験

→ 公認心理師養成機関へ就職し、2年間の実務経験 → 資格試験

・ルーテル学院大学は「公認心理師養成カリキュラム」を実施!
・ルーテル学院大学大学院は、「臨床心理士第1種指定校」と「公認心理師カリキュラム」の両方を備えています!

6. こころの専門家になるために大学で学ぶこと

ルーテル学院大学「臨床心理コース」の公認心理師養成カリキュラム

1. 「実際の臨床現場で、相談者を理解するために必要な知識」

- 人の心の成り立ちや機能、働きに関する学び
「認知心理学」、「学習心理学」、「発達心理学」など
- 「臨床心理学」の支援対象に関する学び
・こころの問題、不適合、障害の理解
・臨床心理学的な人間理解の方法・・・「面接」「観察」「心理検査」など

2. 「専門的なかかわり方」・・・カウンセリングや心理療法、連携を行うための技法

- 心理的支援の方法
・コミュニケーションスキル、心理的支援を行うための基本姿勢
・個人、集団、地域に対するさまざまなアプローチの仕方
・カウンセリング技法、心理療法の知識
・実習(臨床現場での心理士の働き見学)

3. 「教育実践や報告書作成、説明のために必要なスキル」

- 臨床心理学的研究の方法
・心理学研究法(統計、質問紙法など)
・卒業論文作成、レポートの書き方



「臨床心理コース」の授業紹介

1. 「心理実習Ⅰ・Ⅱ」

- 実際の臨床現場に出向いて、心理師の働きを目の当たりにする実習
- 本学では30名が実習可能
- 現在、4領域（医療、産業or司法、福祉、教育）
+ 学内の相談センターの5カ所での実習が可能

2. 「心理学的支援法」

- 1年生前期からの専門科目
- 心理学的支援（心理のお仕事全般、資格の取り方）についての概論
- グループワーク、ディスカッション、ゲームなど、豊富なコミュニケーション実習
- 1年生同士の関係形成やスムーズな大学生活を送るためのHR科目

ルーテル学院大学「臨床心理コース」の特色

1. 臨床心理士第1種指定大学院、公認心理師カリキュラムの大学院がある！

- 「心理6年一貫特進生制度」など、大学院入試が有利！公認心理師資格取得に好条件！
- 長年にわたる臨床心理士養成の実績 → 効果的な教育実践、豊富な学外実習先
- 大学院生による修学支援制度・院生による進学相談、就学支援を受けることができる

2. 福祉、キリスト教、子ども支援も学ぶことができる！

- 心理の視点だけに偏らない、多面的な人間理解が可能
- 心理専門職だけでなく、対人援助の方法を体験的に学ぶことができる
- 対人援助領域の就職先が豊富

「人間」に興味のある人
大募集！！



3. 少人数制の強み

- 少人数だから可能となる、豊富なディスカッション、グループワーク、体験型学習
- 希望者のほとんどが参加可能な「心理実習」
- 学内での顔と顔を突き合わせて結ぶ関係→教職員による細やかなサポート
→ 心理士に必要なコミュニケーション力をじっくりと磨くことができる環境